

地球に笑顔、社会に笑顔、未来に笑顔

青木環境事業株式会社（産業廃棄物処理業）

1.リデュース

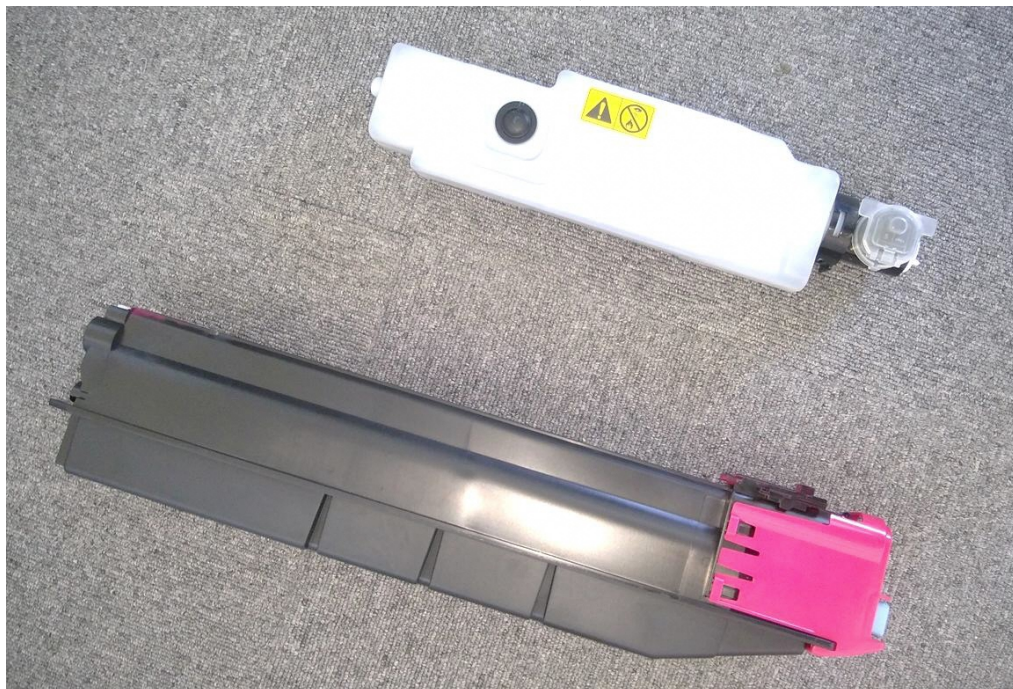
【紙文書の使用削減】



社員用の事務文書などは社内コミュニケーションツールにより周知し、ペーパーレス化を図っている。

【プラスチックの排出削減】

コピー機のインクカートリッジなどにはワンウェイ品を使用せず、リユースやリサイクルを行うことでプラスチックの排出削減に取り組んでいる。



【交換用インクカートリッジ】

2.リユース

【紙の排出削減】

ミスコピーや片面コピーなどの使用済み紙は、裏面再コピーやメモ用紙に使用し、さらに可能な資料は両面コピーを行っている。そして、紙の使用状況を把握しながら、社内における紙削減に取り組んでいる。

2025年度の使用量：105,000枚



【使用済み紙入れ】

3.リサイクル 【古紙類の回収】



社内で生じる段ボールや新聞紙などの古紙類を回収する場所を設け、リサイクルに回している。

【金属くずの選別・回収】

廃棄物中に混じっている金属くずを、可能な限り回収し、リサイクルしている。



4.SDGsの取組 【二酸化炭素の排出削減】

弊社では、ゴール11と13を旨として活動している。特に、CO2対策では焼却炉の排熱を利用した発電施設(発電出力 1050kW)にて発電を行っている。
2025年度の発電量:3,734.1MWh
発生した電力は社内で使用し、余剰分は電力会社に供給している。また、新潟市を中心とした県内15カ所に太陽光発電施設(合計発電出力 3,372kW)を設置している。



11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



中村浜発電所(発電出力 750kW)

構内では、水素を燃料とするフォークリフトが2台稼働しており、CO2を排出せずに作業を行っている。



水素充填設備とFCフォークリフト